
目次

.....

【1】 --- 教員コラム 19 弾 第 5 回

『本を読むこと』と私」母子看護学・助産学／高橋由紀

.....

【2】 --- 貫井徳郎先生「執筆は趣味」レポ

.....

【3】 --- 図書館貴重書から「虞列伊氏解剖訓蒙図」（「グレイ解剖学」和訳本）など古医書を紹介します

.....

【4】 --- 看護学学舎の床がきれいになりました＜広小路キャンパス活性化プロジェクト＞

.....

【5】 --- [10/30(木)開催]【クラリベイトセミナー】英語論文執筆講座

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 教員コラム 19 弾 第 5 回

『本を読むこと』と私」母子看護学・助産学／高橋由紀

.....

私は、幼いころから「本を読むこと」が大好きでした。

私が、「読書」が趣味と自覚するようになったのは、高校以降だったように思います。その理由は、小学校 6 年間最も苦手であった「読書感想文」や、授業中の「音読」から解放されたことがあります。私にとっての「図書」は、この場にながら、本の世界観に没入できる楽しみや心の解放感が魅力で、その図書の世界にいざなう日本語独特の表現であったり、日本語の持つ優美な「音」に魅力を感じていました。

助産師となって、読書好きが幸いしたと感じた一つに、「行間を読む」ことの理解があります。図書には文字通り「行間」があり、日本語のもつ美しい音や間が、「文字」や「・・・」などで表現されています。これは、言語化されない他者や自分の「本心」や「感情」を察することにつながっていると感じています。

しかしながら、その感性は、大学院進学後 180 度変わりました。主語を明確にし、あい

まいな表現をさげ文章を構成される論文作成は、私には苦行でした。留学を経て、第三言語を習得する過程において、私の言語や文章に対する意識を変え、日本語も上達したように実感しています。指導教授に「わかりやすい（和文）文書を書くようになった」とほめてもらえたのは実に大学院修了後6年経ってからでした。そのような理由から、実は、今でも和文に対して苦手意識が強く、主語・述語が明確で多数のボキャブラリーを持たない英語のほうが好きです。そのような自分自身の意識変化がある中で、学生の課題や研究指導時には、今でも「この文章、この段落で相手が何を言いたくてこの文章に至ったのか」とその「行間」を読む努力をしている昔の私が併存しています。

臨床助産師も患者さんの気持ちや言葉を大切にすることを学んできましたが、教育・研究職となり、文章で表現する機会が多くなり、幼少のころから図書が好きでよかったと思います。

※過去の教員コラムは、[こちら](#)です。

【2】 --- 貫井徳郎先生「執筆は趣味」レポ

.....

推理作家貫井徳郎先生を招き、10/2（木）広小路キャンパス活性化プロジェクト特別講演会「[執筆は趣味](#)」講演会を開催しました。

貫井先生のお話は、京都御苑を1時間位散歩されたエピソードから始まり、小学4年生の時図書室で借りたルパンシリーズの『813』を読んでミステリにはまり、15歳で横溝正史賞に応募した時、小説執筆の面白さに目覚めたと思い出を語られました。

また、小説家には運が大事と言われ、デビュー作は賞に落選したけれど選考委員の北村薫先生の推薦で本になり、その後も賞にノミネートされたら必ず選考委員に北村先生がいて受賞出来た、一般企業を退職してすぐにデビュー出来て運が強いと自覚しているとお話されました。

代表作『愚行録』は蛇口のように頭に流れてきたものを書いたそうです。最新刊『不等辺五角形』は映画「最後の決闘裁判」で視点人物によって記憶が違うことにインスパイアされ、よりミステリ色を強めたとのこと。

また現在日本推理作家協会の会長を務めているけれど、日本推理作家協会賞はマイナーなので賞の知名度を上げたいと話しておられました。

小説を書くことが楽しい、趣味で始めたことが仕事になって嬉しかったと力強く言われ、本日の会場が良い雰囲気楽しかったと、明るくポジティブな先生でした。

質疑応答では「『ドミノ倒し』のラストにもやもやしたけれど続編のご予定は？」と作

品にまつわるものから、「執筆のモチベーションを上げるには？」など執筆に関するアドバイスまで、先生のファンや作家志望の方から沢山の質問があり、時間ぎりぎりまで大変盛り上がりました。サイン会も来場者の 1/5 の方々が並び、お一人お一人に席を立ててご挨拶されているお姿が印象的でした。

貫井先生のインタビュー記事は、近日「[広小路通信](#)」に掲載の予定です。こちらもぜひチェックしてください。

【3】 --- 図書館貴重書から「虞列伊氏解剖訓蒙図」（「グレイ解剖学」和訳本）

など古医書を紹介します

.....

図書館貴重書庫で所蔵している歴史的価値ある書籍を紹介する、[京都広小路通信](#)の連載。今回は、医学の基礎をまとめた海外の古典医学書であり、改訂 43 版を重ね今なお解剖学のバイブルとして読み継がれている書籍『グレイ解剖学』を 150 年前に和訳した『虞列伊氏解剖訓蒙図』を紹介します。

ちなみにタイトルが同じ『グレイズ・アナトミー 恋の解剖学』は、アメリカの医師達の仕事と恋愛を描いたドラマです。解剖の種類が違えど、2025 年にはシリーズ 21 を数え、版を重ねても人気がある点は、共通していますね。

[医学の基礎が綴られている 海外から届いた貴重な古典医学書](#)

【4】 --- 看護学学舎の床がきれいになりました

<広小路キャンパス活性化プロジェクト>

.....

「広小路キャンパス活性化プロジェクト」の一環として実施した、看護学学舎の床のワックスはく離、ワックスがけが完了しました。先生方、関係の皆様にもご協力いただき、ありがとうございました。

今回の作業で、看護学学舎のトイレ・壁・床の美化が一旦完了しました。これからも心

地よい空間を保てるよう、きれいにご利用ください。引き続き、看護学学舎の教育研究環境の整備にご理解ご協力をお願いします。

【5】 --- [10/30(木)開催] 【クラリベイトセミナー】第2回英文作成上達講座

.....

4月に実施した第1回の続編となる今回のセミナーは、英語プレゼンテーションを行うための、スライド英語の基本を扱います。アブストラクトを元に、スライド作成から原稿を読み上げる練習まで、生成AIや各種英語ツールも使って、研究内容を効果的に発信するためのコツを学びます。今回が初めてでもお申し込みいただけます。この機会に英語による効果的な研究発表を習得しましょう。

英文作成上達講座（第2回）：アブストラクトの効果的な執筆と英語での研究発表－効果的なスライドと原稿の作成まで

【日時】 2025/10/30(木) 14:00～14:50

【対象】 研究および研究支援に関わる方

【講師】 中山裕木子 氏（株式会社ユー・イングリッシュ 代表取締役）

【申込】 https://interest.clarivate.jp/20251030_Webinar_Uenglish

※本学では「Web of Science」は契約していませんが、同クラリベイト社の「JCR」（インパクトファクター）を契約しています。

[Book Review]・・・編集後記にかえて

.....

貫井徳郎「愚行録」（東京創元社 2009年）

未解決の一家惨殺事件。裕福な美男美女夫婦は何故殺されたのか？

ライターに答える形で夫婦のご近所や友人、元同級生達が語る内容で彼等の真の姿が見えて来る…。故人の夫婦は勿論、登場人物全てが性格の悪い人々で、終始嫌な気持ちになりつつも抜群のリーダービリティで一気に読了。清々しいまでに最悪な読後感でした。

タイトル通り正に愚行録。人間とは何と愚かな生き物なののでしょうか…。叙述トリックのミステリでもあり、実写映画でどう表現されているのか非常に気になるので映画版も配

信で見る予定。(Y.S.)(京都市立中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4488425038>

.....

図書館メール News554 号 2025.10.16 発行 (隔週木曜日発行)

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/webservice/mailnews.html>